

オープンセミナーのご案内

(技術者向け交流サロン)

「モデル駆動開発を組み合わせたソフトウェアプロダクトライン開発入門」

1. 概要

近年の大規模化・複雑化する組み込みソフトウェア開発の改善手法として注目されている MDD(モデル駆動型開発)と SPL(ソフトウェアプロダクトライン)。方法論やツール紹介ではなく、実際の現場ではこのアプローチをどのように理解し、活用・実践しているのか。難しい学術的な内容ではなく、本質的に何が取り組みとして重要なポイントなのか。これらのポイントを第一線で実践している現場から、わかりやすく解説します。

2. 対象者

組み込みシステム産業振興機構会員または、SESSAME 会員であり、組み込みソフトのモデル駆動開発、プロダクトライン開発に興味のある方で、以下のような取り組みを行っておられる方、または以下のような課題認識を持っておられる方。

- 組み込み機器開発を行っている (C でも C++でも Java でも)
- 派生機種開発に取り組んでいる
- ソースコードの行数が50万行を超えた
- 大規模になりすぎて、全体がわかりにくくなってきた
- よく似た不具合が、派生機種にまたがって出てしまう
- 試作コストを下げたい
- メカ屋さん、エレキ屋さんにふりまわされている
- オブジェクト指向設計の経験がある
- UML の読み書きができる
- アーキテクトになりたい／アーキテクトの養成に苦労している

モデル駆動開発(MDD)ツールのユーザーである必要はございませんが、セミナーの中では、astah*、Rhapsody を使用した図面で説明いたします。

3. 主催

組み込みシステム産業振興機構
独立行政法人 産業技術総合研究所 関西センター
組み込みソフトウェア管理者・技術者研究会 (SESSAME)

4. 担当講師

セイコーエプソン株式会社／SESSAME 島 敏博 氏

5. 開催日程

2月21日(月) 13:00～17:00 講義
講義終了後、交流会を開催いたします。(希望者のみ)

6. 開催場所

産業技術総合研究所 関西センター 関西産学官連携研究棟 2F 201 号室
〒563-8577 大阪府池田市緑丘 1-8-31
<http://unit.aist.go.jp/kansai/access/ikeda.html>

7. 募集人数

30名(先着順)

8. 受講料

無料

9. 申込方法

組み込みシステム産業振興機構 事務局まで、所定の申込書をご記入の上、E-mail または、FAX にて送付願います。
電子メール: esip_info@kansai-kumikomi.net FAX:072-751-8806

10. 申込締切

2月10日(木)

11. その他

開催内容の詳細につきましては、下記ホームページに記載しておりますので、ご参照のうえお申込みください。 <http://www.kansai-kumikomi.net/>